

## SS 研 科学技術計算分科会 2024 年度会合

## AI で導く次世代のサイエンス ~AI+Science=?~

- 日時 : 2024 年 10 月 28 日(月) 13:00~18:00 (受付 12:30~)
- 場所 : [神戸国際会議場](#) (住所 : 神戸市中央区港島中町 6-9-1)
- 開催方法 : ハイブリッド開催 集合 + オンライン配信 (ZOOM)
- ご参加について
  - 参加対象 : SS 研会員機関にご所属の方
  - 参 加 費 : 無料

## ■ 開催趣旨

近年、AI を科学に応用する取り組みが多様な分野で広がりを見せています。これらの取り組みは、従来の科学技術シミュレーションに対し、計算時間や資源の削減に寄与するだけでなく、複雑でモデル化が難しい現象の予測や、従来の手法では見つけられなかった新たな関係やパターンの発見につながるものとして、期待が寄せられています。

しかし、科学技術計算のための AI モデルに関する研究開発はまだ始まったばかりであり、現在も改良に向けた試行錯誤が続けられています。さらに、AI モデルの予測結果の信頼性や、学習に必要な計算資源、などの課題も指摘されています。

そこで今回の科学技術計算分科会では、AI の科学技術計算への応用に取り組まれている専門家の方々を講師としてお迎えし、AI+サイエンスの現状や今後の展望についてお話ししいただきます。また、講演後に講師や参加者の皆様が気軽に情報交換できるよう、コーヒーブレイクを長めに設定したプログラムを予定しております。

この機会に、AI+サイエンスに対する期待や疑問を存分に語り合っていただければ幸いです。

## ■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。)

-敬称略-

12:30~	受付
[司会] 藤田 直行 (宇宙航空研究開発機構)	
13:00~13:10	開会趣旨説明 南里 豪志(九州大学)
13:10~13:55 講演: 40 分 質疑: 5 分	[講演 1] 実験・計算科学・データ科学を組み合わせた材料研究(放射性廃棄物材料の例) 大窪 貴洋 (千葉大学)
13:55~14:40 講演: 40 分 質疑: 5 分	[講演 2] 高性能計算と人工知能で加速する脳シミュレーション 五十嵐 潤 (理化学研究所)
14:40~15:25 講演: 40 分 質疑: 5 分	[講演 3] 気象・気候分野における AI for Science AI は気象・気候研究に役に立つか? 中野 満寿男 (海洋研究開発機構)
15:25~16:00	休憩 + 座談(35 分)

16:00～16:45 講演：40分 質疑：5分	[講演4] 産業界でのAI活用 サロゲートモデルでエンジニアリングを加速 宮本 裕平（みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社）
16:45～17:30 講演：40分 質疑：5分	[講演5] HPCとAIを活用した材料探索・シミュレーション技術の開発 吉本 勇太（富士通株式会社）
17:30～17:40	閉会あいさつ
17:40～18:00	[座談] お時間のある方は残って自由討論

■ 詳細・お申し込み

SS研Webサイトからお申し込みください。

<http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会（SS研）事務局

〒212-0014

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5 JR川崎タワー

富士通株式会社 パブリック事業本部 T C事業部内

Email: ssken-office@ml.css.fujitsu.com

URL <http://www.ssken.gr.jp/MAINSITE/>